

## 2019年度事業計画書

特定非営利活動法人埼玉NGOネットワーク

### 事業方針

埼玉NGOネットワークは、埼玉県の国際協力NGOのネットワーク組織として、公正と共生を基本理念とするグローバル市民社会の実現に寄与するため、NGOの運営及び事業の向上を目指して、NGO間のネットワーキング及びNGOと関係機関との連携並びにグローバル教育を進めます。

#### 1. NGOネットワーキング推進事業

NGOの運営及び事業の向上を進めるため、NGO間で情報・体験・意見の共有、相互の学び、国内外の事業連携・参加・協力などネットワーキングを進めます。

##### (1) 法人の運営

###### ①総会の開催

定期総会を年1回開催し、2018年度事業報告・決算・理事選任等の承認を行います。

経費：事務管理費5,000円（印刷費、交通費）

###### ②理事会の開催

理事会を年数回開催し、3月理事会では2020年度事業計画及び予算の決定を行います。

##### (2) 会員ネットワーキング

###### ①定例会・テーマ別意見交換会の開催

定例会は年6回程度開催し、事業の実施協議、NGO間及び関係機関の埼玉県国際課・埼玉県国際交流協会・JICA埼玉デスクとの情報・意見交換等を行います。また、NGO会員のニーズに応じて分野や課題などテーマ別に共通する会員の意見交換の場を設定し、効果的な会員ネットワーキングを進めます。

経費：事務管理費5,000円（印刷費、交通費）

###### ②勉強会の開催

NGOの運営・事業に資するため、海外協力や多文化共生、NGOの運営など、会員共通テーマに内外の講師を迎えて、定例会時に4回程度開催します。

経費10,000円：旅費交通費5,000円×2回（外部講師）

###### ③会員への情報提供・交換

NGOの運営・事業に資するため、メーリングリスト等で、会員の事業、NGOの運営・事業、グローバル教育、NPO法、海外協力及び多文化共生などに関する情報を、年間通じて情報提供・交換を行います。

#### ④会員間ネットワーキング

NGO会員が事業実施や組織運営に当たり、会員間で相互協力や助言・支援・経験交換、事業協力・連携・参加などネットワーキングを促進します。

#### ⑤会員事業への協力

NGO会員の要請に基づき、事業協力や組織運営、助成金申請など年間を通じて適時、適切な会員及び事務局が業務協力を行います。

#### ⑥会員の入会促進

ネットワークNGOの役割・機能を高めるため、埼玉県NGOに入会呼びかけを年間通じて行います。

## 2. NGOと関係機関連携推進事業

共有する目的・目標の達成のため、NGO会員と埼玉県等自治体や教育機関、国際協力機関、県内外のNGO及び全国のネットワークNGO等と連携を図ります。

### (1) 関係機関との連携事業

#### ①埼玉県国際協力団体ネットワーキングの促進

埼玉NGOネットワークは埼玉県国際課及び埼玉県国際交流協会と連携して、埼玉県内で国際協力を行っているNGO、自治体、大学等がそれぞれの団体の国際協力事業の発展及び埼玉県全体の国際協力の向上に資するため、年3、4回程度勉強会の開催検討を協議します。

経費20,000円：通信費5,000円、資料作成費10,000円、消耗品費5,000円

#### ②埼玉県国際課との連携

共通の社会的課題のために、NGOとの連携、個別事業などに関する情報・意見交換、その他必要な事項を行います。

#### ③公益財団法人埼玉県国際交流協会との連携

共通の社会的課題のために、情報・意見交換、グローバルセミナーの共同開催、国際フェアへの出展参加、その他必要な事項を行います。

経費3,000円：賛助会費

#### ④独立行政法人国際協力機構（JICA）との連携

共通の社会的課題のために、JICA東京とグローバルセミナーの共催及び埼玉デスクと年間を通じて情報・意見交換、その他必要な事項を行います。

##### ・JICA連携事業情報交換会

JICA東京に埼玉県国際課と連携して企画段階から参加し、7月頃埼玉県でのNGO・自治体向けJICA連携事業情報交換会の実施に協力します。

##### ・NGO - JICA協議会

NGOとJICA本部の全国的な協議の場である年間3回開催のNGO-JICA協議会に、

引き続きネットワークNGOとして参加すると共に、県内NGOに参加を呼びかけます。

#### ⑤外務省国際協力局民間援助連携室との連携検討

- ・NGO連携無償資金協力制度などへ埼玉県内NGOの利用促進
- ・外務省 - NGO協議会への参加

### (2) 全国のNGOとの連携事業

#### ①埼玉県のNGOとの連携

埼玉県のNGOネットワーク組織として、埼玉NGOネットワークNGO会員以外の埼玉県の国際協力NGOと接触の機会を作り、情報・意見交換を進め埼玉県NGO全体の向上を図ります。また、彩の国さいたま国際交流協カネットワークの代表幹事団体（予定）として5月頃開催の幹事会、全体会に参加します。

#### ②全国のネットワークNGOとの連携

全国12の地域ネットワークNGOの連携に参加し、情報・意見交換、相互学習、事業連携などを通じて、ネットワークNGO及びNGO会員の向上を図ります。

#### ③認定NPO法人国際協力NGOセンター（JANIC）との連携

全国的NGOネットワーク組織で事業規模・内容・経験・知識等を有するJANICと、情報・意見交換や学びなどを通じて連携を進めます。

### 3. グローバル教育推進事業

埼玉NGOネットワークの目的・目標の基盤である世界的課題の理解促進と、その解決に寄与するグローバル市民の育成のためグローバル教育を進めます。

#### (1) グローバル市民育成事業

##### ①グローバルセミナー2020の開催

JICA東京及び埼玉県国際交流協会と共催して2020年2月頃に開催します。  
経費40,000円：講師謝金33,000円、旅費交通費5,000円、会議費2,000円

##### ②グローバル教育ネットワークの促進

埼玉県内のグローバル教育関係者に協力して、グローバル教育のネットワークづくり及びグローバル教育事業の促進に協力します。

#### (2) 市民向け理解促進事業

##### ①国際フェアへの出展参加

埼玉県国際交流協会主催の埼玉県のNGOの祭典である11月頃開催の国際フェアに出展し、市民の国際理解を促進します。

経費6,000円：出展料2,000円、資料作成費2,000円、旅費交通費2,000円

## ②ホームページ、フェイスブックによる情報発信

埼玉NGOネットワークのホームページ、フェイスブックでネットワーク事業、NGO会員事業などの情報を年間通じて発信し、広く理解促進や参加を図ります。

経費5,000円：広報費（レンタルサーバー代）

## ③広報リーフレットの発行

埼玉NGOネットワーク及びNGO会員に関する情報を掲載したリーフレットを発行し、広く理解促進を図ります。

経費10,000円：広報費（リーフレット製作費）

## **4. タスクフォースによるネットワーク強化案策定**

埼玉NGOネットワークの目的を明確にし、役割を高めるため、目指すべき方向性や組織及び事業の強化策を立案するタスクフォースを設置し、年内を目途に作成して理事会に提出し、2020年度事業計画に反映させます。

### ①タスクフォース

2019年度代表理事、副代表理事2名、理事1名及び事務局長の5名から構成します。

### ②開催回数

年間3～5回の会議を開催して協議し策定します。

### ③強化策

2019年12月までに策定し、会員の意見を聞きながら、3月理事会で2020年度事業計画に反映させます。

2019年3月20日

NPO法人埼玉NGOネットワーク理事会

## 2019年度 活動予算書

特定非営利活動法人埼玉NGOネットワーク

科 目	金 額 (単位:円)	
<b>I 経常収益</b>		
1 受取会費		
正会員受取会費	51,000	
賛助会員受取会費	10,000	61,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	43,000	43,000
3 受取助成金等		
受取民間助成金	0	0
4 事業収益		
事業収益	0	0
5 その他収益		
受取利息	0	
雑収入	0	0
経常収益計 (A)		104,000
<b>II 経常費用</b>		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当	0	
人件費計	0	
(2)その他経費		
講師謝金	33,000	
会議費	2,000	
資料作成費	12,000	
消耗品費	5,000	
出展料	2,000	
旅費交通費	17,000	
広報費	15,000	
通信費	5,000	
他団体会費	3,000	
その他経費計	94,000	
事業費計		94,000
2 管理費		
(1)人件費		
役員報酬	0	
人件費計	0	
(2)その他経費		
事務管理費	5,000	
旅費交通費	5,000	
通信運搬費	0	
雑費	0	
その他経費計	10,000	
管理費計		10,000
経常費用計 (B)		104,000
当期経常増減額 (A-B)		0
<b>III 経常外収益</b>		
1 固定資産売却益		0
経常外収益計 (C)		0
<b>IV 経常外費用</b>		
1 過年度損益修正損		0
経常外費用計 (D)		0
①当期正味財産増減額 (A-B+C-D)		0
②前期繰越正味財産額		155,355
次期繰越正味財産額 (①+②)		155,355

## 埼玉 NGO ネットワーク 2019 年度事業計画付属資料

### 1. 2019 年度タスクフォースメンバー

年 3 回程度会議及び IT による意見交換を重ねて、ネットワーク NGO としての埼玉 NGO ネットワークの将来展望と、そのための強化策及び次年度よりの実行策を策定し、理事会に報告する。

メンバー：冨永幸子代表理事、赤石和則副代表理事、筒井哲朗副代表理事、尾池富美子理事、加藤陽一事務局長 5 名（肩書は予定）。

### 2. 勉強会テーマ候補

定例会時に実施、年 3 回程度（4 月、5 月、7 月、9 月予定）。

次回：海外協力シリーズ最終回講師筒井哲朗。

新テーマ：多文化共生（予定）。

- ・在住外国人増加政策を受けて、制度・政策、現場で起きている問題、支援活動、課題等をテーマに講師を迎えて学び、NGO の役割と行政等との連携を考える。
- ・講師候補：さいたま地方法務局担当官、埼玉県国際課多文化共生担当官、ふじみの国際交流センター石井ナナエ代表理事、山尾三枝子日本語ネットワーク代表、Iki TanakaNPO 法人青少年自立援助センター定住外国人支援事業部責任者（在東京）、在住外国人等。

### 3. テーマ別意見交換会

団体会員よりテーマ募集。

団体の運営及び事業、組織の将来像等に関して、共通するテーマに関心のある団体が集まり、発題、経験交流、意見交換などを通してそれぞれの団体に資する。

テーマは団体会員からアンケート等で意見を募る。

### 4. 埼玉県国際協力団体ネットワーク

担当理事：筒井哲朗

埼玉県内で国際協力に取り組む NGO、自治体、大学、企業等のネットワークをつくり、情報、意見、経験、知識等を交流し、連携を行う事で、それぞれの団体の向上に資すると共に、埼玉県での国際協力の発展を進める。埼玉 NGO ネットワークは 2018 年度に埼玉県国際課及び埼玉県国際交流協会と話し合いを持ち、現在の埼玉 NGO ネットワーク勉強会を拡大する方法と彩の国さいたま国際交流・協力ネットワークの国際協力分野の活性化を図る方法が検討されている。

## 5. JICA 連携

担当理事：筒井哲朗

NGO - JICA 協議会、JICA 東京、JICA 埼玉デスクとの連携を進める事で、NGO の運営・事業発展を図る。NGO - JICA 協議会には埼玉 NGO ネットワークとして及び会員 NGO の参加を進める。JICA 東京とは、7 月開催の埼玉県国際協力団体情報交換会等へ企画段階から参加し、可能な NGO の草の根技術協力事業や JICA 基金との連携を進め、またグローバルセミナーを共催する。JICA 埼玉デスクとは定例会での意見交換等を進めていく。

## 6. グローバル教育ネットワーク

担当理事：赤石和則

埼玉県内で小中高校、大学、NGO、地域等でグローバル教育に取り組む研究者、実践者のネットワークをつくり、情報、意見、経験、知識等を交流し、連携を行う事で、グローバル教育の質的向上と普及を図る。

## 7. 国際フェア

担当理事：金子玲子

団体会員のネットワークを活用して、一般来場者に国際理解・協力を進める。

## 8. グローバルセミナー

担当理事：尾嶋佐和子

作業部会を設置し、テーマ、構成、内容、講師等を企画し、定例会での合意を通して準備を進める。三者覚書は担当理事と事務局長が担当する。

## 9. 埼玉 NGO ネットワーク収支見込 2018. 10. 1～3. 31

収入見込額 240, 117 円

寄付金 146, 513 円

寄付金（埼玉国際協力協議会）90, 604 円

会費 3, 000 円

経費見込額 84, 762 円

事務管理費 39, 000 円（印鑑 3 個製作費）

グローバルセミナー 38, 950 円

雑費 1974 円（印紙代、送金手数料）

広報費 4, 838 円（レンタルサーバー代）

次期繰越金見込額 155, 355 円

2019 年 3 月 20 日 NPO 法人埼玉 NGO ネットワーク理事会

NPO法人埼玉NGOネットワーク2019年度事業予定一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
<b>1. NGOネットワーク推進事業</b>						
①総会	9日					
②理事会	9日					
③定例会・勉強会	9日	○		○		○
④テーマ別意見交換会			○		○	
⑤情報提供・交換	年間通じて発信					
⑥会員間ネットワーキング	随時行う					
⑦会員事業協力・入会促進	随時行う					
<b>2. NGO・関係機関連携推進事業</b>						
①埼玉県国際協力団体ネットワーク		彩の国ネット				勉強会
②埼玉県国際課・県国際交流協会連携	定例会	定例会・彩の国		定例会		定例会・勉強会
③JICA連携（埼玉デスク、東京、NGO協議会）	定例会	定例会	草の根・協議会	情報交換会		定例会・勉強会
④外務省連携	N連		協議会			
⑤NGO（ネットワークNGO・JANIC等）連携	随時行う 彩の国ネット					
<b>3. グローバル教育推進事業</b>						
①グローバルセミナー						
②グローバル教育ネットワーク	随時行う					
③国際フェア						
④HP・FB	年間通じて発信					
⑤広報リーフレット	必要な都度、必要部数を印刷					
<b>4. タスクフォース</b>			○			

富永氏帰国日程3.19～4.21、5.21～6.24、10.17～11.15



2019.3.20理事会

10月	11月	12月	1月	2月	3月
○					○
	○		○		
		○			

年間通じて発信

随時行う

随時行う

			勉強会		
	定例会		定例会・勉強会		
協議会	定例会		定例会		JICA基金・協議会
					N連説明会

随時行う

作業部会		三者覚書		○	

随時行う

20日					
-----	--	--	--	--	--

年間通じて発信

必要な都度、必要部数を印刷

○					○
---	--	--	--	--	---

## NPO 法人埼玉 NGO ネットワークの 2018 年度ネットワーキング事例項目

### 事業連携

#### 1. 海外支援事業の連携

- (1) NGO と自治体連携：県国際課 JICA 草の根ラオス事業申請 IV - JAPAN 相談
- (2) NGO 間連携：エクアドル会の JICA 草の根技術協力事業実施シェアザ相談
- (3) NGO 間連携：IV-JAPAN ラオス南部水害緊急支援への支援
- (4) NGO と JICA 連携：AAA と JICA ウガンダ事務所連携による現地調査

#### 2. 国内支援事業の連携

- (1) NGO 間連携：IV - JAPAN と AAA アジア&アフリカの国内災害連携協議
- (2) NGO と JICA 連携：ソーラーネットの JICA 青年海外協力隊員訓練

#### 3. 国内イベントの連携

- (1) NGO 間と JICA 連携：ワールドのフェアトレードフェアへ NGO・JICA 参加
- (2) NGO と自治体連携：埼玉県国際交流協会主催国際フェアへの NGO 参加促進
- (3) NGO 間連携：メイあさかセンター主催のマレーシア学生交流使節団受入
- (4) NGO 間と自治体・JICA 連携：NGO・JICA・自治体主催事業の広報

#### 4. 講師派遣の連携

- (1) NGO と自治体連携：埼玉県国際交流協会主催事業への NGO 講師起用
- (2) NGO 間連携：埼玉 NGO ネットワークから学校へ NGO 講師の派遣

### 事業助成金申請連携

- (1) NGO 間連携：YOU&ME、IV - JAPAN のさいたま国際協力基金申請支援
- (2) NGO 間連携：メイあさかセンターの JICA 草の根技術協力事業申請支援
- (3) NGO 間連携：YOU&ME ファミリーの JICA 基金申請へシェアザによる支援

### 経験共有・情報交換

#### 1. 海外協力経験・知識の共有

- (1) NGO 間連携：IV - JAPAN、シェア・ザ・プラネットの経験共有
- (2) NGO と JICA 連携：シェア・ザ・プラネット NGO 研修 (JICA 助成) 実施

#### 2. 相互の学び

- (1) NGO と JICA・自治体連携：JICA・県国際課との協働で JICA 県セミナー開催
- (2) NGO 間連携：ユニセフグローバル教育教材の利用
- (3) NGO と JICA 連携：JICA グローバル教育教材の利用
- (5) NGO 間連携：勉強会による相互の学び

#### 3. 組織運営・事業の課題への意見・情報交換・経験交流

- (1) NGO 間連携：ギニア心とおにぎりの会 NPO 法人格の取得支援
- (2) NGO 間連携：国際協力 NGO センター・全国のネットワーク NGO からの学び
- (3) NGO と JICA 連携：NGO - JICA 協議会の案内と NGO 会員の参加
- (4) NGO 間と関係機関連携：定例会で NGO, 県国際課、JICA、県協会の情報交換